

血対ID	受理日	番号	感染症 (PT)	出典	概要	新出文 献
70112	2007/09/ 28	70553	異型ク ロイツ フェル ト・ヤコ ブ病	Proc Natl Acad Sci USA 2007; 104: 1965-1970	スクレイピー22L株に感染した神経芽細胞腫細胞およびFUク ロイツフェルトヤコブ病病原体に感染した視床下部GT細胞 は直交配列で高密度な25nmウイルス様粒子を示した。この 粒子は膜に囲まれた不完全結晶で、A型レトロウイルス粒子 クラスターや異常PrP原線維とは別に存在し、形態学的にも 異なっていた。またPrP抗体でラベルされず、ホルポールエ ステル処理で増加しなかったことから、プリオンではなかつ た。この粒子は後期PrP脳病変を誘発するTSE原因プリオン である可能性がある。	
70128	2007/10/ 24	70647	異型ク ロイツ フェル ト・ヤコ ブ病	Proc R Soc B 2007; 274: 1497-1503	英国人消費者のBSE感染したヒツジ肉への理論的曝露を評 価し、屠殺場での制御により達成されるリスク軽減を見積 もる数学モデルを構築した。その結果、1頭の感染ヒツジが 感染ウシ1頭に比べ10~1000倍の感染物質をもたらすと予 測された。また、英国でBSE感染が続いているヒツジの群は わずか4群と95%の信頼度で推定した。組織検査に基づいた 戦略、12ヶ月齢制限および危険部位の拡大よりも、6ヶ月齢 制限および遺伝子型に基づいた戦略の方が感染リスク軽減 に更に有効と考えられた。	41
70112	2007/09/ 28	70553	異型ク ロイツ フェル ト・ヤコ ブ病	SEAC/Positi on Statement 2007年6月13 日	英国保健省はSEACに歯科治療処置を介したvCJD伝播のリ スク概算を目的とした初期研究の知見についての助言を求 めた。初期研究では、歯科処置によるvCJD伝播のリスクが 予想より高いことが示唆された。ガイダンスは今年初め歯 科治療器具の使い捨てを勧告した。公衆衛生上の影響につ いてのより綿密な考察と、さらなるリスク減少手段の特定 のため、全ての歯科治療のリスクについて詳細で包括的な 評価を早急に行うことも重要である。	42
70125	2007/10/ 24	70644	異型ク ロイツ フェル ト・ヤコ ブ病	Transfus Clin Biol 2006; 13: 312-316	vCJDが輸血により伝播するエビデンスがあるかを調べるた めに1997年に英国で試験が開始された。今までのところ本 試験により、輸血によるvCJD伝播と思われる症例が3例特 定された。2例は臨床症状を呈し、もう1例は臨床症状発現前 の症例である。	43
70103	2007/09/ 21	70533	異型ク ロイツ フェル ト・ヤコ ブ病	Transfus Clin Biol 2006; 13: 320-328	血漿製品によるプリオン感染症例は今まで見られていない。 国によって対策は異なるが、vCJDやBSEのある国での疫学 的調査、特定の期間にBSE発生国へ旅行したり、住んでい た人や輸血や組織移植を受けた人に対する供血延期措置、 血漿中の白血球除去、複雑な産業的分画過程中的のプリオ ンの除去などが行われている。エタノール分画、デプスフ ィルトレーションおよびクロマトグラフィーは数logのプリ オンを除去できる。またナノフィルトレーションもプリオン 除去に有用な方法である。	
70125	2007/10/ 24	70644	異型ク ロイツ フェル ト・ヤコ ブ病	Transfusion 2007; 47: 1418-1425	PrPTSEのmisfolded protein diagnostic (MPD)アッセイは、 TSE感染マウス、正常マウスおよびPrPノックアウトマウス 由来の脳組織中で、ウェスタンブロットシグナルと相関し、 異なったペプチド配列を持つ試薬ではnegativeアッセイシ グナルであった。血漿又は血清に対して適用した場合には、 MPDアッセイは未感染の対照と比較して、種々の実験的 および自然TSE感染由来検体を区別した。MPDアッセイは、 ヒト及び動物のプリオン病の前臨床及び臨床診断にあたり 有用であると考えられる。	44